

アンケート	<p>■バンジャマン氏との交流を通じて感じたことや彼の訪問を受けての印象</p> <p>■次回、フランス・香川の映画交流の場が持てるとしたら、彼に何を聞きたいか</p> <p>■その他、何かご感想があればご遠慮なく書いてください。</p>
-------	---

合田利邦	<p>■バンジャマン氏との交流を通じて感じたことや彼の訪問を受けての印象</p> <p>日本の文化、映画に興味を持って、勉強され、さらに、フランス映画について教え、発展させる立場の方と、地方都市香川でお会いしお話できる機会が持てたことにホントに、感謝しています。日本の地方都市でも、映画製作に取り組む人たちがいること、知っていただけたことだけでも、とても意義あるのですが、バンジャマン氏とのお話の中で、フランス映画界が、USAハリウッド映画全盛の中で、多くの多彩な芸術作品を作り、人材を育てるシステムについてお聞きできたことは、本当に、ためになり学ばせていただきました。</p> <p>■次回、フランス・香川の映画交流の場が持てるとしたら、彼に何を聞きたいか</p> <p>ぜひ、日本、フランス両方の映画をご覧になり、日本の映画界がこれから、発展していくために、フランスのシステムをどのように、日本風にアレンジしたら、よいシステムになるか？アイデアあればお聞かせいただくと助かります。よろしく願いいたします。</p>
------	--

福永信也	<p>福永です。以下感想になります。ヨロシクお願いします。</p> <p>大変貴重な時間と意見をお聞きする機会を頂き、ご本人を始め関係各署に感謝いたします。</p> <p>バンジャマン氏との交流会を経て、海外からの視点としての日本。その一部の香川に來られて何を感じ取られて帰国されたか後の感想をお聞きしたい。御会いしてから後、氏が研究されている北野映画において様々な本を読むようになりました。</p> <p>読んでみて映像を通して観るものと制作意図を含めた経緯やこだわりにおける記述もあり氏が研究されている事に納得しています。</p> <p>我々日本人でありながら普段何気ない事であっても映像を通じて伝えるパワーとそしてそこに制作する人達の想いを今感じつつあります。</p> <p>今回の御縁をきっかけに自主制作映画の国際交流として香川とフランスの自主制作交流という事をできないものかと考えています。現地フランスの自主制作映画を香川で上映するとか逆にフランスで上映するとか？又は、合作的な共同制作映像など様々な交流と仕掛けが可能だと感じます。フランスの自主制作映像に関する情報を今後も発信いただければ幸いです。</p> <p>また改めて来日の際には、是非香川にお越しいただきたいと思います。有難うございました。</p>
------	---

増井都乃	<p>「バンジャマン氏との交流会」感想・意見 増井都乃</p> <p>■バンジャマン氏との交流を通じて感じたことや彼の訪問を受けての印象 “映画に使われる風景を研究する”という分野があるということを知ったことは非常に新鮮でした。そのような学問研究分野があるのか、と、驚きました。 バンジャマン先生がなぜ香川にいらしたのか、というのは実は素朴な疑問として持っていた(京都や東京ではなく、なぜ香川なのか?)のですが、瀬戸内の景色が非常に映画によく使われているから、という説明に納得と新鮮さの混じった不思議な感覚を覚えました。 バンジャマン先生に質問しようにも、自分にとって「フランス映画とは？」と言えるほど、フランス映画に造詣が深いわけではなく、自分自身が準備不足だったな、と感じました。軽い気持ちで参加したのですが、それではせっかくの機会がもったいなかった。</p> <p>■次回、フランス・香川の映画交流の場が持てるとしたら、彼に何を聞きたいか 香川で制作した映画をフランスで実際に上映させていただくチャンスがあるのかどうか？あるとすればそのためにはどうすればいいのか？</p> <p>■その他、何かご感想があればご遠慮なく書いてください。 景色だけでなく、様々な文化的な背景(紙の文化と石の文化という質問をされた方もいらっしゃいましたが、それ以外にも例えば社会システム的なものやそれと無関係ではない人々の感情的な側面)のような、もうちょっとつっこんだ話もできたらいいな、とは思いましたが、何しろ自分が準備不足で私自身あまり的確な質問もできそうもなく、次回は質問ができるように準備していきたいな、と思いました。 以上</p>
------	---

木田晴造	<p>まず、映画発祥の地フランスに、映画学なるものがあることに敬意を払いたいと思います。そしてそれがどのようなものであるのか、もう少し知りたいところでもあります。</p> <p>さて、私がいちばん興味をもつのは各国映画フィルムの色彩に関するものです。まあ今代表的なのはイーストマンカラーというのでしょうか、ハリウッド映画で使われているものですが、私の単なる思い込みかも知れませんが、1970年前後に青春時代を過ごし、その頃見たフランス映画というものには何か違った印象を持っています。ドイツ映画にはドイツ映画らしい色彩、また我が日本には独自の繊細な色彩を感じます。</p> <p>今やデジタルカメラに駆逐されつつあるフィルムカメラも、フィルムそのものは映画用のフィルムを流用したものと言われておりますが、その発展は素晴らしいものだと思っています。コダクローム、エクタクローム、フジクローム、サクラクローム、アグファ等使い分けていた頃が…。</p> <p>で、質問は70年代当時フランス映画で使われていたフィルムとか現像所がどこでどのようなものだったか知りたいのですが。</p>
------	---

梅木佳子	<p>■バンジャマン氏との交流を通じて感じたことや彼の訪問を受けての印象</p> <p>もっと、芸術家っぽいイメージを浮かべていたのですが、すごくまじめで堅い印象で、お話を伺っていても、すごくまじめで大学教授らしい堅いお話だったので、驚きました。近くに座られていた奥様の方が、私の描いていたパリジェンヌっぽかったので、奥様から、意見をたくさんお伺いしたかったです。</p> <p>■次回、フランス・香川の映画交流の場が持てるとしたら、彼に何を聞きたいか</p> <p>私は、フランス映画が大好きで、フランス映画みたいなおしゃれな映画が撮れたらなあと思っていますのですが、現代のフランス映画の傾向とか流行など、教えてもらいたいです。また、日本映画とフランス映画の違いはどこにあるのか？とか、どちらの映画のどの部分が面白いのか、それぞれの特徴をフランス人の先生から見て、どう思われるのか、お聞きしたいです。</p> <p>■その他、何かご感想があればご遠慮なく書いてください。</p> <p>フランスの男女間の恋愛や結婚観は、現代どうなのか？昔と今の変化や流行などお伺いしたいです。</p> <p>実は、私は、今月下旬に、フランス旅行を考えているので、パリで訪れたらいい場所もお伺いしたかったです。</p> <p>香川のロケ地のことばかりで、申し訳ないですが、それは、日本人同士でも話したことだと 思い、せっかくフランスから来ていただいたのに、フランスのことがあまり聞けなくて、とても残念でした。</p> <p style="text-align: right;">梅木 佳子</p>
------	--

橋一二三	<p>今回バンジャマンさんより色々お話を伺い、日本もショート・フィルム制作が国から支援されるような、文化的に成熟した国になってほしいと思いました。せっかくの機会でしたが、時間が短く、お話をもっとお聞きしたかったです。次回は対談という形ではなく、バンジャマンさんの講演会+集まった方々との食事会などされてはどうかと思いました。また是非いらして頂きたいです。</p>
------	---